

京都革新懇

No200 会員ニュース 2009年 3月16日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会
http://www.kyoto-kakusinkon.com

〒606-8397
京都市左京聖護院川原町4-13 教育会館別館
TEL/FAX共用 075-724-8270

全国革新懇の 3つの共同目標

日本の経済を国民本位に
転換し、暮らしが豊かに
なる日本をめざします。
日本国憲法を生かし、自
由と人権、民主主義が発
展する日本をめざします。
日米安保条約をなくし、
非核・非同盟・中立の平
和な日本をめざします。

- 3月27日(金)
3・27品川正治 講演会
午後6時30分~
西陣織会館 6階
- 3月29日(日)
京都府民大集会
(円山音楽堂)
- 4月10日(金)
京都革新懇定期総会
(かもがわ)



真面目に働いた者が、普通に暮らせる社会に(吉岡副委員長・左)、「建築労働者は仕事も所得も減っている」(高橋副委員長・右)。



京建労の府庁前座り込み行動は10年ぶり。「橋本内閣のときに消費税引き上げ、社会保障改悪があって以来、建築現場の不況は、あのときを上回る」と京建労役員。

この不況を何とかしてくれ!

公契約条例の制定
生活密着の公共工事拡充を
訴え

建築労働者に 生活できるだけの 仕事を

賃金をあげろ!
仕事がない!



「地元の仕事は大企業ではなく、地元業者に」と訴える座り込み参加の組合員。

全京都建築労働組合は、1月28~30日の3日間、府庁前で座り込み行動を実施。「仕事がない」「地元の工事は地元の業者に発注を」「公契約条例の制定」などを訴えました。

地域・職場革新懇

あちこちで決意新たに取り組みすすむ

南区革新懇「新春のつどい」

2月1日(日)午後3時～5時 京建労会館にて



谷内口浩二氏講演

現在の政治を語る

革新懇運動の過去・現在・未来

「1960年安保闘争時代からアメリカいいなりの政治経済の本格的なしくみ、いわゆる安保体制が確立した。来年で丁度50年目、半世紀の節目を迎えている。憲法問題が重要な段階にある。国民投票法が発効し、2011年には改正原案を審議しようとしている。消費税問題が出てきている。経済が回復したらというが、国民生活のことは考えてない。大企業がもうかるようになったらという意味の回復だ。もっとも警戒しなければならない手法だ。

いよいよ選挙の年だ。今度の選挙は本当に重要な選挙だ。2007年の選挙でせっかく民意が反映されたのになんら変わっていない。後期高齢者医療制度も廃止されていない。日本共産党が伸びるかどうにかかっている。

来年は京都府知事選挙の年だ。1978年に民主府政は落城した。その前の大橋の時から革新分断が始まった。1980年の社公合意の布石がある。この時に革新懇が生まれた。社会党左派連中がこの運動に参加していたら変化していたと思う。残念ながら社会党再建協議会は1990年に解散してしまった。その後、一気に右傾化が始まった」と熱く語られました。

部では、運動の交流に移り、ユニオン南の風から「南区でも青年の闘いが大きく展開、闘いに立ち上がってきている若者が増えている支援を」とまた「職場のパワハラで裁判で闘っている」と青年から報告がありました。また会場で支援カンパを訴えた結果3万円を超えるカンパが集まりました。

交流では、現在の派遣ぎりの実態や、九条診療所での派遣村の闘いの報告、仕事起こしなど行政に求めていく運動や、雇用の拡大に力を入れようなど多くの意見が出され時間いっぱいまで熱気のある交流となりました。

日本映画発祥の地・京都市右京区で、 —映画『蟹工船』と平和を語るつどい—

右京革新懇は、京都映画人九条の会との共催で2月11日、右京ふれあい文化会館で、170人が参加して「映画『蟹工船』と平和を語るつどい」を開催しました。

主催者を代表して右京革新懇代表世話人の長砂貫さんは、「『蟹工船』が書かれた1930年当時は世界恐慌の時代、今の世界同時不況と共通する部分もある」と多喜二・蟹工船の時代的背景を解説し、つどいの成功を訴えました。

参加者は映画「蟹工船」を鑑賞。後半は4人のパネラーを中心にトーク集会が開かれました。

映画監督で京都映画人九条の会代表の土橋亨さんは「レッドパージや東宝争議などのあと次々と独立プロができて、今では考えられない良い映画がつくられた。現在見ても新鮮に受け止められる内容だ。最後の軍艦の登場は、軍隊は国民を守るためにはないということだ。ソマリアへの自衛隊派遣問題にも通じる」、脚本家・高垣博也さんは「蟹工船は1953年の作品、1952年には原爆の子、1954年にはゴジラ、1959年には第五福竜丸がつくられた。いずれも反戦の映画だ。

蟹工船は、働く人たちの姿と貧困が生き生きと描かれている。井福さんの音楽も良い」、派遣労働者のUさんは「日産の下請けで働いていたが派遣



切りであった。その時の親会社の言い方は蟹工船と同じだ。私たちは労働組合をつくり闘っている。蟹工船でも示されたが数は力だと思う」、西右京ユニオン・ひまわりの伊藤力さんは「この蟹工船は今とまったく同じだ。映画に『普通に働きたい』とつぶやく労働者のシーンがあったが、現在の青年労働者の声と共通している。貧困と戦争は結びつくと思う。青年の中に閉塞感が満ちている。秋葉原の事件の犯人の気持ちがわかるという若者もいた」と語りました。

京都市右京区は日本の映画発祥の地、今でも多くの映画人が活躍しています。会場には東映の女優さんも姿を見せました。最後にパネラーからは、「禁じられたあそび」「かくも長き不在」「西部戦線異状なし」「ジョニーは戦場へ行った」「博士の異常な愛情」などの反戦映画の紹介がされ鑑賞がすすめられました。

参加者からは、「貧困と戦争について考えさせられた」「平和憲法の大切さがしみじみとわかった」とこもこも語られ、つどいは盛況のうちに終わりました。

「事故米問題」を農政事務所の廃止で幕引きにはできない！！

国民本位の行政をめざす農林・京都の会

1月17日(土)「農林水産省改革のための緊急提言」等学習会開く。農林水産省改革チームが11月27日に発表した「農林水産省改革のための緊急提言」等の学習会を、全農林労組大阪分会湯川委員長を報告者に、また汚染米問題等を厳しく追及してこられた生産者・消費者等の方にも参加をお願いして、現役・OBなど20数名の参加で開催しました。

また、農民組合京都府連合会書記長の上原実さん、新日本婦人の会上京支部長の吉岡百合子さん、元京都府農業会議事務局長(立命館大学講師、渡辺地域経営研究所代表等)の渡辺信夫さんからは、それぞれの立場から見た緊急提言への率直な意見や感想等を話していただきました。

学習会後の新年会では、参加者一人ひとりから、近況やそれぞれの職場等での取り組み状況、学習会の感想等を出し合うなど、ざっくばらんに意見交換を行い、決意新たに今後も取り組みを進めることなどを確認し閉会しました。

宇治久御山革新懇のつどい -- 報告

宇治久御山革新懇(代表 永良系二)の「新春のつどい」が1月17日、30人が参加して開催されました。

つどいでは、大阪経済大学教授の大橋範雄さんが、日本の派遣労働と派遣法の問題点と解決の途すじを詳しく話され、話題提供されました。大橋範雄さんは労働者派遣問題の第一人者です。

派遣元と労働者の間に労働契約があるので、派遣元と派遣先の企業どうしの派遣契約を解除したとしても、派遣元が雇用者として労働者に契約を履行すべき。派遣元が雇用責任をはたさないのなら、派遣先が擬制労働関係(みなし雇用)として、雇用すべき。派遣労働者と正規従業員との間の均等待遇原則の適用すべき。などと話されました。

目から鱗がおちる明快な話に、参加者からは「よい話だった。こんな集いならば、また参加したい」などと感想が寄せられていました。

第8回「山科平和塾」開催 革新・山科の会 2月8日(日)、婦人と子どもの家で開催。

この平和塾は、日頃の忙しさに追われ、なかなかまとまった形での学習が難しい状況の下で、毎月1回、1年程度をかけて「平和学」を学ぼうと、山科平和を守る会、京建労、民商、革新・山科の会などで実行委員会をつくって始められたものです。

常任講師は、龍谷大学で「平和学」の講義を行ってこられた辻田氏。

2008年7月13日に第1回が開校して毎月第2日曜日に開かれています。講義の内容は、「平和学とは何か」、「戦争の原因について」、「ヒトの攻撃性と暴力」など。第7回は、「戦場における人の振る舞い」というテーマで心理学者でかつ歴史学者でもあるデービッド・グロスマンの「戦争における『人殺し』の心理学」にそって講義がおこなわれました。

講義の後コーヒーを飲み、質問や意見の交換がされ、次回もこのテーマで行う。月に1回であるが戦争や平和を語ることの大切さを学んでいます。(野原孝喜)

京都革新懇 1300人建設めざしてご協力をお願い

日本の政治を希望あるものに変える革新懇運動が、出番のときをむかえています。三つの共同目標・憲法を生かす政治・アメリカいいなりの政治を許さない・雇用とくらしを守る政治の実現めざして、全国でも京都でも新しい共同の前進がはじまっています。

いま、京都では3月27日に全国革新懇代表世話人・品川正治さんをむかえての「経済講演会」成功にむけ全力を上げています。

いま一つ、京都独自の課題として、4月10日の京都革新懇第30回総会にむけて1300人全国ニュース読者・会員への拡大運動をめざしています。この間、各職場、地域、分野のみなさんのご協力で、1月以降、38人の拡大成果を上げました。

多くの府民のみなさんの全国革新懇ニュースをご購読いただき、会員になっていただくことこそ政治を変える共同前進の確かな一歩です。引き続きの全国ニュース購読・会員拡大へのご協力をよろしくおねがいいたします。

2009年3月

京都革新懇拡大推進本部 本部長 伊藤邦雄

京都革新懇 第三十回総会 開催のご案内

日時 4月10日(金)
午後 6時30分から
会場 京都市職員会館
(かもがわ)大会議室
中京区土手町夷川上ル末丸町
TEL 075-256-1307

日頃のご援助・ご協力に厚くお礼を申し上げます。全国でも京都でも、革新懇運動に新しい勢いがついています。

九月には「活動強化をめざす交流会」、十二月には大門さんを迎えての「金融講演会」、左京区、南区、宇治・久御山で運動が新たに再開されました。

京都革新懇第三十回総会を開催いたします。大変お忙しいなか恐縮ですが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。



3・27 品川 正治 講演会

品川正治氏
経済同友会終身幹事
全国革新懇代表世話人

しながわ・まさじ
プロフィール
1924年神戸市生まれ。現在、経済同友会終身幹事、財団法人国際開発センター会長、全国革新懇代表世話人。東京大学法学部卒。日本興亜損保(旧日本火災)社長・会長、経済同友会副代表幹事・専務理事を歴任。
著書に『これからの日本の座標軸』『9条がつくる脱アメリカ型国家』『戦争のほんとうの恐さを知る財界人の直言』など。

日時：09年 3月27日(金)
午後 6時 30分～(開場：午後6時)
会場：西陣織会館 6階
上京区堀川今出川下ル西側
参加費：700円
400円(青年・学生)

講演会終了後、サインセールをおこないます。

新しい芽が意味持つ年に！

人間の目で戦争を見たのが憲法九条なんですね。憲法九条を持っている国として、経済も人間の目で考えるべきではないか。私はそのことを、ずーっと考え、主張してきました。

企業だけがあつたんでは、資本主義でもなんでもないんです。労働者と企業と両方あって資本主義です。非正規労働で、年収200万円以下の若い人が多いという状態を、このまま続けていって、資本主義は、日本はもつのでしょうか。

非正規雇用の人たちが組合をつくったり、組合に加入しています。労働組合に新しい血が入り出したんですね。08年に始まったいろんな芽は、09年にはかなり大きな意味を持つんじゃないですか。

(1/3日付「赤旗」新春インタビューより)

革新懇ブックレット 「国民にあたたかい日本へ」

地域、職場で活用し、新しい政治への共同広げよう



全国で六〇〇冊突破(2月25日現在)
京都で九七〇冊普及中(2月25日現在)

新しい日本の探求はいよいよ重要です。みなさんの一層のご援助、ご協力をお願い致します。



各界二十一氏の発言は活躍する分野や信条の違いを超えて、豊かな見識と感性で彩られています。

革新懇ブックレット
に反響広がる